本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

CASIO®

2461・2623＊JA

取扱説明書

2461・2623

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特長

●EL バックライト

暗いところでも表示を明るく照らします。

●自動的に特別な曲を報音

12月25日と1月1日の午前12時になると、自動的に時報報音／ライト点灯／メロディ報音を行ないます。

●デイカウンター機能

今日から設定日までの日数を表示することができます。また、設定した「月日」になると表示で知らせてくれます。

●アラーム機能

設定した時刻になるとメロディまたは電子音*が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

* メロディまたは電子音は、12月25日と1月1日になると特別な曲に切り替わります。

●ストップウオッチ機能

1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

●メモ機能

1件につきタイトル(8文字)とメモデータ(16文字)を5件メモリーできます。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

ライト点灯について 5

12月25日と1月1日になると 5

操作のしくみと表示の見方 6

デイカウンター機能の使い方 8
- メモリーを見る …… 8
- タイトル、設定日のセット …… 8
- 設定した「月日」になると …… 9

アラーム・時報の使い方 10
- アラーム時刻のセット …… 10
- アラーム・時報のON／OFF設定 …… 12
- アラーム音を確かめるには …… 12
- 鳴っているアラーム音を止めるには … 12

ストップウオッチの使い方 13
- 計測のしかた …… 13

メモ機能の使い方 14
- データを見る …… 14
- データを入力する …… 14
- データを修正する …… 16
- データを消去する …… 16

時刻・カレンダーの合わせ方 17
- 「秒」合わせ …… 17
- 「時刻・カレンダー」合わせ …… 17

曲名リスト 20

製品仕様 …… 24
ご使用上の注意 …… 25
お手入れについて …… 27
電池交換について …… 27

ライト点灯について

時刻モード、デイカウンターモード、ストップウオッチモード、メモモードのとき、

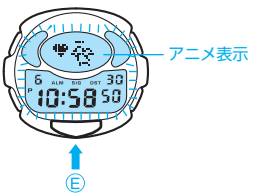
Ⓔ ボタンを押します

➡約３秒間文字板が発光します。

※モジュール2623は2002年12月25日以降、時刻モードではライト点灯に合わせてアニメが表示されるようになります。（それまではライト点灯アニメは行ないません）

＊モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。

<時刻モード>



<ご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にⒺボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

12月25日と1月1日になると

本機は、12月25日と1月1日の午前12時になると、自動的に時報報音とライト点灯を行ない、特別な曲が鳴り出します（曲名については20ページ参照）。

- 12月25日のとき…特別曲1が鳴ります。
- 1月1日のとき…特別曲2が鳴ります。

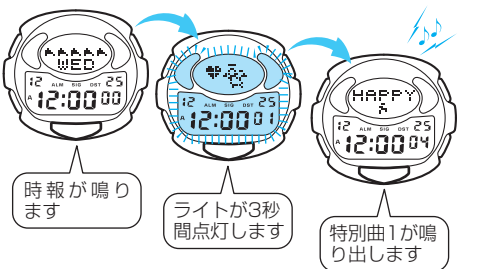
※メロディ報音中は曲名が表示されます。Ⓔボタン以外のボタンを押すと音が止まります。

※カレンダー設定を変えても特別な曲は鳴りません。

※日本より早く日付の変わる地域では、自動時報報音／ライト点灯／特別曲報音は行ないません。

※12月25日と1月1日になるとメロディ報知機能の報音とアラーム報音も特別な曲に切り替わります。

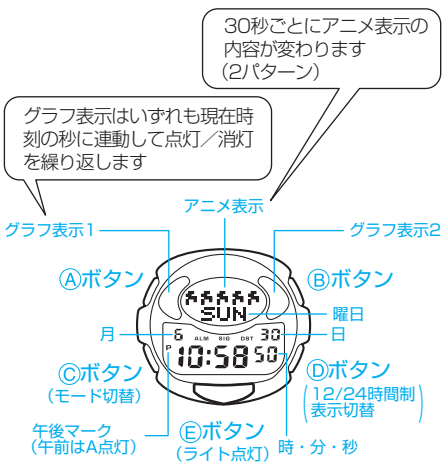
例）12月25日の午前12時になると…



操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。
※デイカウンターモード、アラームモード、メモモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



★12/24時間制表示切替について

時刻モードで、Ⓓボタンを押すごとに、12時間制表示（午前“A”／午後“P”）と24時間制表示とが切り替わります。

※12時間制と24時間制とで表示されるアニメは異なります。

★メロディ報知機能

時刻モードで、Ⓑボタンを押すと、あらかじめ内蔵されているプリセット曲*を報音します。

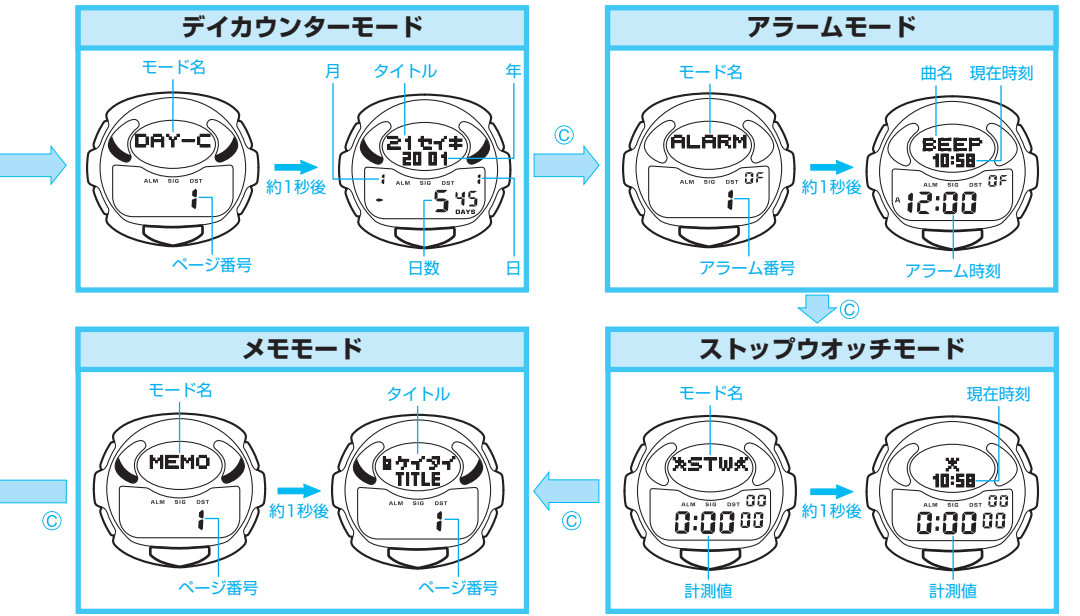
*プリセット曲は12月25日と1月1日になると特別な曲に切り替わります。

※報音中はダンスアニメが表示されます。このとき、Ⓔボタンを押すと、ダンスアニメと曲名の表示が切り替わります。

※Ⓔボタン以外のボタンを押すと音が止まります。

★曜日の見方

SUN：日	MON：月	TUE：火	WED：水
THU：木	FRI：金	SAT：土	


デイカウンターモード
モード名
DAY-C
ALM SIG DST
1
ページ番号
約1秒後
月
タイトル
年
21 セイキ
20 01
1
ALM SIG DST
1
-
545
DAYS
日数
日
©
アラームモード
モード名
ALARM
ALM SIG DST OF
1
アラーム番号
約1秒後
曲名
現在時刻
BEEP
10:58
ALM SIG DST OF
A 12:00
アラーム時刻
©
ストップウオッチモード
モード名
STWX
ALM SIG DST 00
0:00'00
計測値
約1秒後
現在時刻
X
10:58
ALM SIG DST 00
0:00'00
計測値
©
メモモード
モード名
MEMO
ALM SIG DST
1
ページ番号
約1秒後
タイトル
6 ケイタイ
TITLE
ALM SIG DST
1
ページ番号
©

デイカウンター機能の使い方 Ⓒボタンを押して、デイカウンターモードにします。

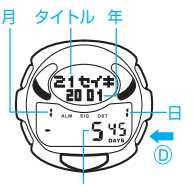
デイカウンターモードでは、タイトル（12文字）と年月日を5件メモリーでき、自動的に今日からの日数をカウントして表示します。
デイカウンターモードに切り替えると、モード名とページ番号を約1秒間表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

●未来の予定日などを設定…今日からの残日数を表示
●過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を－（マイナス）で表示

※工場出荷時は、“－－－－－”、2001年1月1日で5本ともメモリーされています。

■ メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、Ⓓボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにページが切り替わります。
※ページを切り替えると、モード名とページ番号を約1秒間表示します。
※タイトルが6文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（タイトルの最後に“◀”マークがつきます）
※タイトル部に文字を入力していないときは、“－－－－－”と表示されます。

■ タイトル、設定日のセット

(1) セットしたいページを選びます

デイカウンターモードのとき、Ⓓボタンを押します



➡ Ⓓボタンを押すごとにページが切り替わりますので、セットしたいページを選びます。

(2) セット状態にする

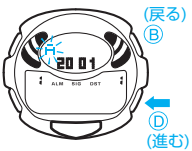
Ⓐ ボタンを約1秒間押します



➡ タイトルの1桁目が点滅します。

(3) 点滅箇所のセット

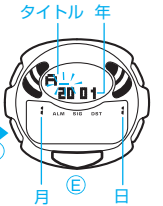
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

(4) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル1桁目～12桁目→年→月→日→タイトル1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※Ⓔ ボタンを押すと逆方向に移動します。

表示が点滅しているときにⒹボタンとⒷボタンを同時に押すと、今日の日付がセットされます。

※タイトル部が点滅しているときにこの操作を行なうと、入力したタイトルが消去されます。

(3)～(4)の操作を繰り返して、タイトル、設定日をセットします。

※タイトルは最大 12 文字まで入力できます。

入力できる文字

（空白）、

アルファベット（A～Z　&　@　／　.　!　?）

カタカナ（ア～ン　ァ·ッ·ャなどの小文字　゛　゜　、　。）

マーク（：　'　·　…　（　）　<　>　←　→　★　❤　☃　☎　▬　▙　～　#　*）

数字（+　1～0　−）

※「年」は 1940 ～ 2039 年までセットできます。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページで"DAYS"マークが点滅して知らせてくれます。

＜時刻モード＞



"DAYS"マーク（点滅）

アラーム・時報の使い方 Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが５本あります。設定した時刻になるとメロディまたは 20 秒間の電子音＊が鳴ります。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

＊メロディまたは電子音は、12月25日と1月1日になると特別な曲に切り替わります。

■アラーム時刻のセット

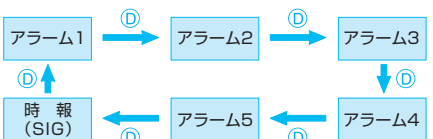
(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

※表示を切り替えると、モード名とアラーム番号を約1秒間表示します。



(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します



➡ アラーム音セット表示となります。

※このとき、アラームが自動的に ON になります。

＜ご注意＞

12月25日と１月１日のときは「時」が点滅します。

(3) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「アラーム音→時→分→アラーム音…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

＜ご注意＞

12月25日と１月１日のときは「時」⇔「分」で点滅が移動します。

(4) 点滅箇所のセット

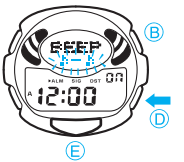
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ または Ⓑ ボタンで、点滅箇所をセットします。

★「アラーム音」セットのときは…

➡ プリセット曲と電子音のどちらかお好きな音を選ぶことができます（曲名については20ページ参照）。

※Ⓔ ボタンを押すと、選ばれているアラーム音を試しに聞くことができます。（いずれかのボタンを押すと音が止まります）



<ご注意>

12月25日と1月1日は「アラーム音」を選ぶことはできません。（特別な曲のみとなります）

表　示	アラームの鳴り方
曲名、♪－M	プリセット曲が鳴ります。
BEEP、♪－♪	電子音が20秒間鳴ります。
曲名、★★★	12月25日のときは特別曲1が鳴ります。 1月1日のときは特別曲2が鳴ります。

※曲により報音時間は異なります。

※曲により曲名を省略して表示することがあります。

★「時」「分」セットのときは…

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」の午前“A”／午後“P”、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム音、アラーム時刻をセットします。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

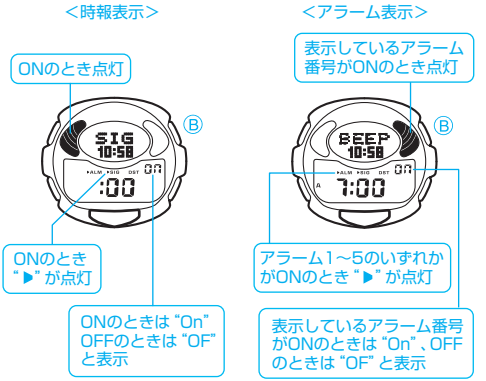
■ アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIG）表示を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに、アラーム・時報のON／OFFが切り替わります。（下図参照）

※ONにするときはマークを点灯させ、OFFにするときはマークを消灯させます。



■ アラーム音を確かめるには

アラームモードのとき、Ⓔ ボタンを押すと、選ばれているアラーム音が鳴ります。

※報音中にいずれかのボタンを押すと音が止まります。

※時報表示のとき Ⓔ ボタンを押すと時報音が鳴ります。

■ 鳴っているアラーム音を止めるには

Ⓔ ボタン以外のボタンを押すと音が止まります。

※アラーム報音中はダンスアニメが表示されます。このとき、Ⓔ ボタンを押すと、ダンスアニメと曲名の表示が切り替わります。

ストップウオッチの使い方

Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

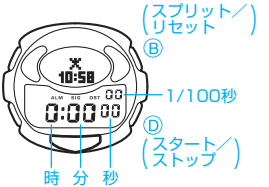
ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に０に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※計測中はダンスアニメが表示され、計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯を繰り返します。



★計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（"SPLIT" 表示）
★計測終了後Ⓑボタンを押すと、計測値が０に戻ります。（リセット）

●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　ストップ　リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓑ → Ⓓ → Ⓑ → Ⓑ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

メモ機能の使い方 Ⓒボタンを押して、メモモードにします。

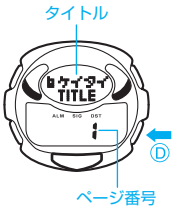
メモモードでは、1件につきタイトル（8文字）とメモデータ（16文字）を5件メモリーできます。
メモモードに切り替えると、モード名を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■ データを見る

(1) 見たいページ（タイトル）を探す

メモモードのとき、Ⓓボタンを押します

➠Ⓓボタンを押すごとにページが切り替わります。

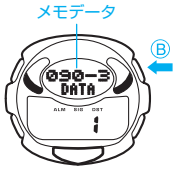


※ページを切り替えると、モード名を約1秒間表示します。
※タイトルが6文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（タイトルの最後に“◀”マークがつきます）
※タイトル部に文字を入力していないときは、“－－－－－－”と表示されます。

(2) メモデータを見る

Ⓑボタンを押します

➠メモデータを表示します。



※メモデータが6文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（メモデータの最後に“◀”マークがつきます）
※メモデータ部に文字を入力していないときは、“－－－－－－”と表示されます。
※Ⓑボタンを押すとタイトル表示に戻ります。

■ データを入力する

(1) 空きページを選ぶ

メモモードのとき、Ⓓボタンを押して、空きページを表示させます

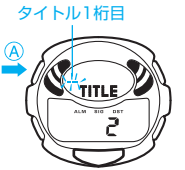
※データがすでに5件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください。（「■データを消去する」16ページ参照）



(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➠タイトルの 1 桁目が点滅します。

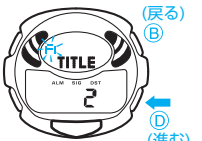


(3) 点滅箇所のセット

Ⓓ またはⒷ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

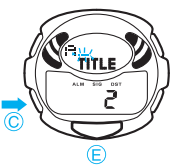


(4) セット箇所を選ぶ

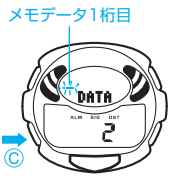
Ⓒ ボタンを押します

➠Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル1桁目～8桁目→メモデータ1桁目～16桁目→タイトル1桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※Ⓔ ボタンを押すと逆方向に移動します。



※タイトルの入力がすべて終わりましたら、Ⓒ ボタンを押して点滅箇所をメモデータ部に移動させます。（右図）



(3)～(4)の操作を繰り返して、タイトル、メモデータを入力していきます。

※タイトルは最大8文字、メモデータは最大16文字まで入力できます。（入力できる文字については9ページ参照）

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ データを修正する

(1) Ⓓ ボタンを押して修正したいページを選びます。
※メモデータを修正したいときは、Ⓑ ボタンを押してメモデータを表示させてください。

(2) Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します。
➡タイトルの 1 桁目が点滅します。
※メモデータを表示させているときは、メモデータの 1 桁目が点滅します。

(3) 修正したい部分までⒸまたはⒺボタンを押して点滅を送り、ⒹまたはⒷボタンを押して文字(数字)を修正します。

(4) 修正が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します。

■ データを消去する

(1) Ⓓ ボタンを押して消去したいページを選びます。

(2) Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します。
➡タイトルの 1 桁目が点滅します。

(3) Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します。
➡“CLEAR”表示後、データが 1 件消去されます。
※このとき引き続き他のデータを入力することができます。



(4) 消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

■「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押します



➡「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせて Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）

(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

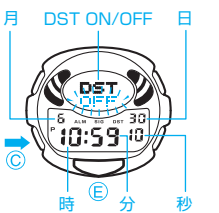
時刻モードのとき、Ⓐボタンを約1秒間押します



➡「秒」が点滅します。

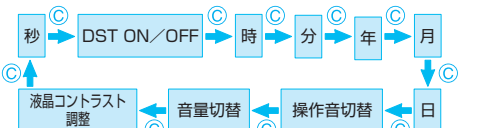
(2) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

※Ⓔ ボタンを押すと逆方向に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ または Ⓑ ボタンで、点滅箇所をセットします。

★「DST ON／OFF」セットのときは…

➡ DST*のONとOFFが切り替わります。

※DSTをONにすると、通常の時刻より 1 時間早まります。(DST ONマーク点灯)

＊DST はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

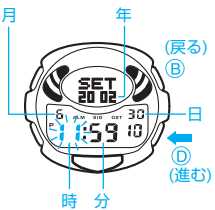


★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※「時」の午前 "A" ／午後 "P"、または 24 時間制にご注意ください。



※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

★「操作音切替」のときは…

➡ モード切り替えのときに鳴る操作音を選ぶことができます。

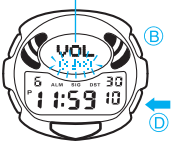
※"♪M" ＝メロディ
" ♪ " ＝電子音
" — " ＝操作音なし



★「音量切替」のときは…

➡ アラーム報音やメロディ報音などの音量を選ぶことができます。

※"((♪))" ＝大
" (♪) " ＝小



★「液晶コントラスト調整」のときは…

➟液晶表示の濃淡が7段階で調整できます。

※点滅箇所の数字は 1 つずつ進み（戻り）ます。

※（淡）1←…4…→7（濃）



(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

曲名リスト

各機種のプリセット曲・特別曲は以下の通りです。（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）

モジュール2461

	曲名	報音時間
プリセット曲	Everything	約29秒
特別曲1	クリスマス・イブ	約32秒
特別曲2	永遠（とわ）に	約25秒

モジュール2623

	曲名	報音時間
プリセット曲	Save the best for last	約20秒
特別曲1	Happy Xmas (War is over)	約20秒
特別曲2	The power of love	約46秒

memo


memo

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精　　度: 平均月差±15秒以内

表 示 方 式: FE型液晶デジタル表示

基 本 機 能: 時·分·秒、
午前(A)／午後(P)／24時間制表示、
月·日·曜日、
フルオートカレンダー(2000～2039年)

デイカウンター機能: タイトル(12文字)と年月日を5件メモリー
設定範囲＝1940～2039年
今日から設定日までの日数を表示
「月日」一致報知機能

アラーム機能: 時刻アラーム
5本
セット単位＝時·分
アラーム音＝プリセット曲、
電子音、
特別曲1(12月25日のみ)、
特別曲2(1月1日のみ)
時報　毎正時に電子音で報時

ストップウオッチ機能: 計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1·2着同時計測

メ モ 機 能: タイトル(8文字)とメモデータ(16文字)を5件メモリー

そ の 他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、
メロディ報知機能、
自動的に特別な曲を報音(12月25日と1月1日のみ)

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI

使 用 電 池: CR-1620(電池別途販売)

電 池 寿 命: 約18ヶ月
(電子音20秒間／日、ライト3秒間／日使用した場合)

※ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
- 1日当たりライト9秒間使用
…約16ヶ月
- 1日当たりライト15秒間使用
…約14ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● **表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

● 時計機能には影響ありません。

■静電気

● 極度の静電気により誤った時刻を表示したり、電子部品が破損する場合があります。
● 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

■薬品類

● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■EL パネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用している EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- **「サビ」**
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- **「劣化」**
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- **「かぶれ」**
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

カシオ計算機株式会社

MA0209-000001A